

苫小牧地区U12 サッカーリーグ IN 北海道 兼 第 53 回苫小牧地区小学生サッカー交歓会 兼 第 30 回苫  
民杯争奪少年サッカー交歓会 兼 第 44 回全日本少年サッカー大会苫小牧地区予選 開催要項

※新型コロナウイルスの影響により不測の事態が起こった場合についてはすべてにおいて下記の  
限りではない事を必ずチームにて留意の上、ご参加ください。

1. 目的 「Player's First!」の観点から、全てのプレーヤーに年間を通じたプレー機会を提供することで、リーグ戦文化の定着と育成、全ての選手が「公式戦」に出場できることによるサッカーファミリーの増加、サッカー文化の浸透を図ることを目的として、本事業を実施する。
2. 主催 公益財団法人 日本サッカー協会・公益財団法人 北海道サッカー協会
3. 主管 苫小牧地区サッカー協会・苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 協賛 苫小牧民報社
5. 期日 令和2年8月上旬～9月上旬
6. 場所 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場
7. 参加資格
  - ① 公益財団法人日本サッカー協会並びに苫小牧地区サッカー協会第4種委員会に本年度加盟登録済みのチーム。他地区からの登録・参加は認められない。
  - ② 参加チームの構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通して継続的に活動していること。
  - ③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
  - ④ 財団法人スポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる障害保険加入手続き完了済みである選手。
  - ⑤ 女子登録選手の参加を認める。
  - ⑥ 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意をえること。
  - ⑦ 複数チームエントリーする際は、各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要である。また、引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
  - ⑧ 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証(印刷した選手証または電子選手証)を持参しなければならない。ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。
8. 参加チーム 23チーム
9. 競技方法
  - ① 各ブロックに分かれ総当たり、リーグ戦で行い、一日最高で原則2試合(土日で4試合)までとする。
  - ② 競技時間は原則30分(15-10-15)とする。
  - ③ リーグは、予選リーグについては7チーム及び8チームの3リーグとし、予選リーグの順位により、決勝リ

- リーグへの参加チームを決定する。決勝リーグへはT1、T2、T3リーグの上位2チームの合計6チームが進出し次の2つのリーグに分けてリーグ戦を行う。決勝リーグAはT1リーグ1位、T2リーグ2位、T3リーグ2位の3チームとする。決勝リーグBはT1リーグ2位、T2リーグ1位、T3リーグ1位の3チームとする。各リーグ総当たりを行い上位1チームが代表決定戦へと進出し代表決定戦を行う。
- ④ 各リーグにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- (1) 当該チームの間の対戦成績。
  - (2) 当該チーム間の得失点差。
  - (3) 当該チームの間の総得点数。
  - (4) 抽選（決勝リーグにおいては予選リーグ時に上位リーグのチーム、代表決定戦においてはPK戦）
- ⑤ 翌年度、については今年度の順位は反映させずに今後の協議事項とする。

## 10. 競技規則

- ① 本年度（公財）日本サッカー協会競技規則（8人制）に準じて実施する。
- ② 試合開始30分前に主審によるユニフォームチェックを受ける。その際、エントリー表も提出する。（今年度は新型コロナウイルス感染対策のため8月1日監督会議時にメンバー表に記載のユニホーム（ホーム・アウェイ）を確認し予選リーグ全試合の着用ユニフォームを決定する。
- ③ 競技者の数は8人（内1人はゴールキーパー）とし、6人未満となった場合は不成立。原則としてチームの構成は、引率指導者1～3人、選手16名以下（女子の参加可）とする。
- ④ ベンチに入ることができる人数は11人（交代要員8人、引率指導者3人）とする。
- ⑤ 交代は主審の承認を得る必要が無く、エントリー表に記載された残り8名以下の選手の中で自由に交代することができる。交代はインプレー中、アウトプレー中にかかわらず行うことができるが、交代ゾーンから行う。（交代ゾーン）ベンチ側タッチラインのハーフウェーに6m（ハーフウェーラインを挟んで両側3m）としタッチライン外側に約30cmの長さでラインまたはマーカーコーンでマークしておくこと。
- ⑥ 交代して退いた競技者も交代要員となり、再び出場することができる。
- ⑦ 本大会において、退場させられたものは次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。本大会の規律委員会は、第4種役員等にて構成されたメンバーで行うこととする。
- ⑧ 本大会期間中、警告を2回受けたものは、次の1試合に出場できない。
- ⑨ コートの広さは原則68m×50mとし、ゴールは少年用ゴールを使用する。ペナルティエリア12m、ゴールエリア4m、センターサークル7mとする。
- ⑩ 本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。その際は0-5の不戦敗とする。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
- ⑪ 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑫ ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに変わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

## 11. エントリー等の確認

- ① チーム登録選手の変更・追加は原則認めないものとする。
- ② やむを得ない事情がある場合は、4種委員会において検討する。
- ③ 選手証・指導者ライセンス証等の確認は各チームの第1試合目前に本部で実施する。

## 12. ユニフォーム

- ① ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規定」を遵守していることを条件とする。
- ② ユニフォーム(上衣・パンツ・ストッキング)は正の他に副としてこれと異なる色のユニフォーム(上衣・パンツ・ストッキング)を携行すること。
- ③ 審判と類似の色のユニフォームの上衣を用いることはできない。
- ④ 背番号は必ずエントリーに登録された選手の番号を付けること。

### 13.ブロック運営

- ① 各ブロックの運営責任者を1名配置し調整等を行う。
- ② 運営は原則自主運営であるが参加チームは運営責任者を中心に会場などの協力を惜しまず運営を行うこと。
- ③ 運営責任者は結果、変更事項等速やかに各役員に報告すること。

14.審判員 4人制審判 参加チームは必ず1名上の帯同審判を義務づける。(2名が望ましい)

15.開会式 新型コロナウイルス感染対策のため行わない。

16.閉会式 新型コロナウイルス感染対策のため行わないが下記の内容で表彰を行う。

- ① T1リーグ優勝、準優勝、第3位、T2・T3リーグの優勝チームにトロフィー及び賞状を授与するが、チームの代表者(監督等)に渡して終了とする。
- ② 決勝リーグ及び代表決定戦においては表彰を行わない。

### 17.その他

- ① 苫小牧地区サッカー協会、懲戒規定第3条に規定する違反行為があった場合、それ以降の処置については大会規律委員会において裁定する。大会規律委員長は4種委員長とし委員は4種委員長が選任する。
- ② 複数チームを登録する場合はトップチーム、セカンドチームとしてトップチームよりセカンドチームが上位ブロックもしくは同一ブロックに入ることは出来ない。
- ③ 後期の成績が次年度のブロック分けに繋がるものとしてトップチームが降格しセカンドチームと同ブロックになる場合は自動的にスライドになり降格チームが同ブロックに残ることになる。
- ④ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には本大会競技役員において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがある。
- ⑤ 監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した際は、主審の判断により退席処分とし、それ以降ベンチからのコーチングは不可とする。
- ⑥ 代表決定戦において勝利チームは、令和2年9月26日(土)苫小牧地区にて開催される道南ブロック大会への参加を義務づける。
- ⑦ 本大会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営関係者・引率保護者・観客など会場にいるすべての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- ⑧ 本大会における感染対策担当者は4種委員長とする。別途定める新型コロナウイルス感染予防に関する事項をチーム内で周知し徹底すること。
- ⑨ 不測の事態が発生した際には大会実行委員長(4種委員長)により実行委員会を開き協議する。